

2023年度の資金支援

2023年度は22団体（Aコース7団体、Bコース12団体、Cコース3団体）が資金支援を受けて活動しています。各コース1団体ずつ紹介します。

Aコース（活動を生み出す支援）

宮前ポッチャ倶楽部

2022年に活動を開始。宮前老人福祉センター、宮崎台小学校体育館や宮前スポーツセンターなどでポッチャ教室を常設で開き、シニア世代の交流をしています。ポッチャ普及活動を介して他の地域活動グループとの交流も行っています。現在会員は約30名、自然観察会などを開いて会員相互の親睦を深めています。

「ポッチャはシニア世代の心身の健康維持とコミュニティ構築に最適です。無理をしないで一緒に楽しみましょう」と会長の奥山友保さんは多くの方の参加を呼びかけています。



宮前ポッチャ倶楽部
案内



Cコース（活動を継続させる支援）

国際おしゃべりサロン宮前

生活情報が入りにくい外国人や日本語の壁で交流が難しい外国人と日本人がサロンという場でおしゃべりをしながら交流を図り、外国人をサポートする活動を2014年から行っています。

月2回宮前市民館ロビーで開催、毎回いろいろな国の外国人をスピーカーとして招き、それぞれの国の文化や身近な現地の情報を日本語で話してもらっています。外国人に伝わりやすい簡単な日本語も勉強します。

「英語が苦手だから話しかけにくい人でも簡単な日本語で、あるいは身振り手振りでコミュニ



国際おしゃべり
サロン宮前
Instagram



Bコース（活動を育てる支援）

坂の上のカフェしらはた

地域住民のいこいの場所となるコミュニティカフェを「白幡台いこいの家」で2017年から開いています。豆や焙煎にこだわって美味しいコーヒーをいれる「バリスタ」研修を受けた会員がハンドドリップでコーヒーをいれています。手作りのマラカスでルンバの音楽を楽しんだりもしています。

2022年はコロナのため通常のカフェを開くことができず、白幡台第一公園や東高根森林公園、とんもり谷戸などの公園で、あるいは「ラブみやまえ」などで野外カフェを開きました。今年は野外カフェのほかに「白幡台いこいの家」でのカフェも再開する予定です。

「美味しいコーヒーを通して地域の方々が集まっておしゃべりする場所と時間ができて、高齢者の交流や世代間の交流もできます。カフェでお待ちしています」と代表の高橋敦子さん。



坂の上のカフェしらはた
Twitter



ニケーションがとれます。外国人にごみ捨てなどの生活に必要なルールや地域の情報を提供でき、外国人との共存を促すようにもなります。気軽にサロンに参加してみませんか」と会長の鈴木裕子さん。

まちづくり広場へのご意見・感想はこちらまで

(事務局) 宮前区役所地域振興課

電話 856-3125

FAX 856-3280

E-MAIL 69tisin@city.kawasaki.jp

HP アドレス <https://www.miyamae-machikyo.com>



【 編集後記 】 橋に入口と出口が？ 一つの橋に漢字とひらがなの2つの銘板が？ 道路には起点と終点が？ 道路に上りと下りが？ ……すべての橋・道路に当てはまるかどうか定かではないが、橋を通っている道路の起点側が橋の入口で漢字の名称、橋を通っている道の終点側が橋の出口でひらがなの名称、また道の起点側に向かうのが上り、その逆を下りと言うらしい。先日、散歩がてら平瀬川にかかる一部の橋でそれを確かめてみた。確かに橋の銘板が兩岸にあり、一方は漢字、対岸側はひらがなになっていた。なるほど、こちらが橋の出口か、いま道を下っているのか〜と、なんだか楽しい散歩になった。(S.A.)



区民がつくる まちづくり広場

No.296
2023.9

編集・発行 宮前区まちづくり協議会

特集 資金支援

資金支援を受けて大きく羽ばたきました！ ～今も続けてまちづくり～

資金支援を受け、発展的に活動を続けている団体をいくつか紹介します。

ふる里さくら祭り実行委員会



(平成13年度資金支援)
宮崎台駅前のさくら坂と近隣公園でふる里を感じるようにと始めたお祭りは毎年4月の第一日曜日に開催。

平瀬川流域まちづくり協議会



(平成13年度～平成16年度資金支援)
春には、みんなで植えた桜のもと鮎の放流、7月には川沿いの町会合同で川の掃除をしています。

宮前ガーデニング倶楽部

(平成13年度～平成15年度資金支援)

シャベルでコミュニティを掘り、宮崎台駅前界隈、宮前平駅前から区役所までの道で花壇活動をしています。



宮前区ふたごの会

(平成22年度～平成28年度資金支援)
双子の子育てが大変な中、月に一度区役所で、育児相談やみんなと情報交換をしてほっと一息ついています。



いぬくら子ども文庫

(令和2年度～現在も支援中)
子どもたちに本の楽しさを教えるため、いろいろ趣向を凝らして毎週水曜日開催。



今月号の主な内容

- 1面 ・特集：資金支援を受けて大きく羽ばたきました！～今も続けてまちづくり～（5団体紹介）
- 2面 ・特集：『ガーデン区みやまえ』みんながつながり合う暮らしのまちの継承を（永野部会長）
- 3面 ・特集：こんな活動を応援 ・活動を広げ自立をサポートする資金支援 ・支援金申請団体の募集
- 4面 ・特集：A：宮前ポッチャ倶楽部 B：坂の上のカフェしらはた C：国際おしゃべりサロン宮前

次号予告

・宮前区のいいところ撮り！フォトコンテスト部会特集

『ガーデン区みやまえ』

みんながつながり合う暮らしのまちの継承を

資金支援部会長 永野 勝

区づくりプラン「ガーデン区みやまえ」の思い

“人が好き・緑が好き・まちが好き”平成5年に区民から公募により制定された宮前区のキャッチフレーズです。区の特徴を表し、区民の思い・誇りでもありますね。

翌平成6年には宮前区の将来像を描く区づくりプランの策定作業が始まりました。区内各地区で誰でも参加できる「まちづくり広場」をはじめとして2年半にわたり200回以上の会議を開催して区民の意見・提案を集め、平成9年3月にプランをまとめ上げました。



区づくりプラン表紙

そこに描き出された宮前区の将来像は、「心の通った生活のまち」として「ガーデン区みやまえ」と名付けられました。「人・緑・まち」が象徴する暮らしの中の様々なテーマを7分野に整理し、加えて区内3つの地区の特色を生かした課題解決の方向性が示され、将来像が描かれています。

区民の総力を集めて描き出した思い「誰もがワクワクしながらいつまでも住み続けたいまち宮前区」を目指してプランを実現するために推進委員会が発足し、市民活動が始まりました。活動は現在のまちづくり協議会へ発展的に引き継がれています。

資金支援部会

市民の自発的な活動が生まれ、さらに広がるためには、活動資金、活動場所、情報、ノウハウな

ど様々な支援が必要です。資金支援部会は主に資金面での支援と団体同士の交流支援を通して、活動団体の育ちと自立、つながりと活性化を応援しています。

他都市や企業などによる支援の多くが事業支援になっていますが、私たちの支援は活動団体支援であることに特徴があります。完結する事業支援にとどまるのではなく、もっと先までの人や団体の可能性に夢を託したいのです。

資金支援部会が目指すことは「多分野のまちづくり活動団体が生まれ、育ち、活発化し、自立し、広がり、連携し、かつ継続することを推進すること」です。そのことによって、市民自らの意志と行動によるまちづくり活動が新たな価値を生み出し、住みよく暮らしやすい、持続可能な、市民協働のまちづくりの進展に寄与することを目的としています。



資金交付時交流会

いつまでも住み続けたいまち宮前区の継承を

高齢化する市民活動の一方で、近年は若い世代のお母さん方の活動が目を見えます。コロナ後は自宅に拠点を移したお父さんたちの活動も期待できます。多世代で多様な活動団体が刺激し合い連携し合って、様々な得意技をつなぎ合って、更なる価値に高め合って、やりがいや生きがいが生まれてくる「いつまでも住み続けたいまち宮前区」を次の世代へも継承していきましょう。

こんな活動を応援しています

資金支援の対象となる活動は多岐にわたりますが、代表的なものは次のとおりです。

■花とみどりの保全・育成

宮前区内のまちかどに季節の花々を植え、育て、街行く人々の心を癒したり、子どもたちの農業体験を含めた援農活動を通して少なくなった区内の農地を守っていくことを目指した活動

■子育て支援

就学前の子どもを持つ母親同士の交流の場を提供し、孤育てにならないよう、親子ともども仲間で学び合う場をつくる活動

■子どもの健全育成

道具を使ったものづくりの楽しさをイベントや講座を通して、親子ともども、また、近隣住人と一緒に学べる活動

■障がい者の支援

障がいの有無にかかわらず誰もが地域で自分らしく暮らせるようにする、福祉的文化活動

■高齢者福祉

区内に増えつつある高齢者、特に高齢者夫婦2人所帯、単身所帯に交流の機会や場を提供したり、見守りにより高齢者が安心して暮らせるまちづくり活動

■シニア世代の支援

シニア世代に向けた健康講座や技術講座、交流会などを開催してシニア世代の交流促進をはかり、市民活動の仲間づくりや地域参加へのきっかけづくりを応援する活動

活動を広げ自立をサポートする資金支援

これまで支援金を受けてスタートしていった団体は135に及び、多くの団体がその後活動を広げ自立し活動を続けています。まちづくり協議会のホームページで、資金支援を受けて活動を広げた団体を「先輩インタビュー」として紹介しています。



先輩インタビュー
QRコード&冊子

まちづくり協議会
ホームページ
QRコード



支援金申請団体の募集

募集は毎年4月頃に行われます。



支援にはAコース（活動を生み出す支援）、Bコース（活動を育てる支援）、Cコース（活動を継続させる支援）があり、それぞれ上限額は5万円、15万円、10万円となっています。申請後、活動説明会で計画の発表、学識経験者を含む審査員による審査があります。詳細は、募集チラシやパンフレットを見るか、事務局（区役所地域振興課）にお問い合わせください。